

# I R活動の状況

当社は、アナリスト・機関投資家を対象とした決算説明会を年2回（本決算、第2四半期）開催しております。決算説明会の模様については、ホームページ等で動画または音声配信を実施しております。海外の機関投資家に対しては、重要情報の英語でのタイムリーな情報提供に努めております。また、個人投資家向けにはオンライン会社説明会を開催しております。

## 2021年度

個別面談※	国内	海外	合計
上期	37件	3件	40件
下期	36件	15件	51件
合計	73件	18件	91件

※電話・メールでの照会分除く

相手先は、アナリスト（セルサイド・バイサイド）、  
ファンドマネージャー他

## 2022年度

個別面談※	国内	海外	合計
上期	24件	3件	27件
下期	32件	13件	44件
合計	56件	16件	72件

※電話・メールでの照会分除く

相手先は、アナリスト（セルサイド・バイサイド）、  
ファンドマネージャー他

## アナリスト向け決算説明会

2Q決算	開催日	11月24日
	参加者	39名
	アーカイブ 視聴者	日：1,117名
英：58名		
期末決算	開催日	5月24日
	参加者	44名
	アーカイブ 視聴者	日：1,017名
英：72名		

## アナリスト向け決算説明会

2Q決算	開催日	11月18日
	参加者	36名
	アーカイブ 視聴者	日：378名
英：51名		
期末決算	開催日	5月19日
	参加者	31名
	アーカイブ 視聴者	日：577名
英：58名		

## 個人投資家向け説明会

上期	開催日	9月17日
	参加者	797名
	アーカイブ 視聴者	385名
下期	開催日	3月18日
	参加者	806名
	アーカイブ 視聴者	352名

## 個人投資家向け説明会

上期	開催日	9月21日
	参加者	914名
	アーカイブ 視聴者	749名
下期	開催日	3月24日
	参加者	961名
	アーカイブ 視聴者	550名

# 2023年度

---

個別面談※	国内	海外	合計
上期	23件	1件	24件
3Q	17件	3件	20件
合計	40件	4件	44件

※電話・メールでの照会分除く  
相手先は、アナリスト（セルサイド・バイサイド）、  
ファンドマネージャー他

## アナリスト向け決算説明会

2Q決算	開催日	11月17日
	参加者	32名
	アーカイブ 視聴者	日：99名 英：19名

※ 2Qアーカイブ視聴者は2024年1月31日現在

※ 当日の様様については、当社HPに公開しております  
動画資料並びに書き起こし資料をご参照ください。

動画資料：<https://c-hotline.net/Viewer/Default/40814faf0a085599cadf48c9d7d2533ae73a>

書き起こし：<https://finance.logmi.jp/articles/379253>

## 個人投資家向け説明会

上期	開催日	9月21日
	参加者	840名
	アーカイブ 視聴者	192名

※なお、コロナ禍以降、リアル説明会（証券アナリスト協会、証券会社営業支店等）は実施しておりません。

# 対話における関心事項

投資家との対話により、業績や中期経営計画、事業動向などさまざまなテーマについてご意見・ご質問を頂戴しております。

## ① 総括

### 2023年度 1Q

項目	ご意見・ご質問
業績と評価	<ul style="list-style-type: none"><li>● 前期決算の評価と今期計画の考え方 -今期計画(リスク要因、販管費増の理由)</li><li>● 第1Q決算の評価と通期見通し -通期計画に対する進捗評価、販管費減の理由、不採算案件の有無</li><li>● 足元の受注状況</li><li>● 外部環境要因(材料・エネルギーコスト高騰、物流混乱、為替変動等)の影響</li></ul>
中期経営計画の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>● 中期経営計画目標の進捗状況</li><li>● 人財成長戦略(人財育成・人財流動の進捗状況、社員の反応)</li><li>● 3社統合の効果</li><li>● 株主還元(自己株式取得50億円とした理由、今後の継続性)</li><li>● M&amp;A戦略(ターゲット、規模感)</li><li>● 東証要請(PBR 1倍割れ改善対応)に対する現状認識と検討状況</li><li>● ESGの取り組み(GHG削減、役員の多様性、女性活躍等)</li><li>● 事業区分別利益開示を開始した背景</li></ul>

項目	ご意見・ご質問
環境・社会イノベーション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前期実績の評価と今期計画の考え方 <ul style="list-style-type: none"> <li>-高い目標値の牽引項目、利益率改善の理由</li> <li>-西武建設（M&amp;A想定時との相違点、今期伸長する理由、シナジーの状況）</li> </ul> </li> <li>● 1Q実績の評価と今後の見通し <ul style="list-style-type: none"> <li>-受注好調の要因</li> <li>-グリーンエネルギー事業：売上目標引上げの理由</li> <li>-EV充電器設置案件の状況</li> </ul> </li> </ul>
ICTソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前期実績の評価と今期計画の考え方 <ul style="list-style-type: none"> <li>-今期の受注減、売上増を計画する理由、利益率改善の理由</li> </ul> </li> <li>● 1Q実績の評価と今後の見通し <ul style="list-style-type: none"> <li>-通期計画達成へのリスク</li> <li>-受注増加の要因</li> </ul> </li> </ul>
通信基盤ドメイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前期実績の評価と今期計画の考え方 <ul style="list-style-type: none"> <li>-計画値設定の考え方</li> <li>-今後の見通し</li> <li>-ローカル5Gの見通し</li> </ul> </li> <li>● 1Q実績の評価と今後の見通し <ul style="list-style-type: none"> <li>-通信基盤ドメインの利益が改善した理由</li> </ul> </li> </ul>

## 2023年度 2Q

項目	ご意見・ご質問
業績と評価	<ul style="list-style-type: none"><li>● 第2Q決算の評価と通期見通し<ul style="list-style-type: none"><li>-通期計画に対する進捗評価</li><li>-販管費減の理由</li><li>-不採算案件（要因と対策、拡大リスク、リカバリープラン、営業・施工活動への影響）</li><li>-事業区分別計画値(受注、売上、売上総利益)の変更理由</li></ul></li><li>● 足元の受注状況</li><li>● 外部環境要因(材料・エネルギーコスト高騰、物流混乱、為替変動等)の影響</li></ul>
中期経営計画の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>● 中期経営計画目標の進捗状況</li><li>● M&amp;A戦略<ul style="list-style-type: none"><li>-国際航業の子会社化（事業内容、狙い、シナジー、利益貢献の見通し等）</li><li>-今後のターゲット</li></ul></li><li>● 利益性改善への取り組みと進捗状況<ul style="list-style-type: none"><li>-NTT事業子会社の再編（目的、想定効果）</li><li>-営業利益目標の達成確度、課題</li></ul></li><li>● B/S面から見た成長戦略<ul style="list-style-type: none"><li>-「キャッシュ・アロケーション計画（2023-2026）」の考え方</li><li>-負債調達余力の見方</li><li>-EBITDA（額・率）をKPI化した理由</li></ul></li><li>● 株主還元<ul style="list-style-type: none"><li>-総還元性向をターゲットレンジ（50%～70%）とした背景</li><li>-今期の追加株主還元（自己株取得枠拡大、増配）の可能性</li></ul></li></ul>

項目	ご意見・ご質問
みらいドメイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 足元の受注状況</li> <li>● 採算性(グリーンエネルギー事業・ソフトウェア事業・グローバル事業の足元採算性、今後の見通し)</li> <li>● 国際航業の子会社化（具体的な提携分野、期待する利益貢献）</li> </ul>
環境・社会イノベーション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2Q実績の評価、今後の見通し <ul style="list-style-type: none"> <li>-不採算案件の影響 -（不採算を除いた）利益の状況</li> <li>-利益改善：通期利益(率)計画値の達成確度、来期以降の見通し</li> <li>-受注好調の要因</li> <li>-EV充電器設置案件の状況</li> </ul> </li> </ul>
ICTソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2Q実績の評価、今後の見通し <ul style="list-style-type: none"> <li>-不採算案件の影響 -（不採算を除いた）利益の状況</li> <li>-利益改善：通期利益(率)計画値の達成確度、来期以降の見通し</li> <li>-グローバル事業の現況</li> <li>-物販事業の現況</li> </ul> </li> </ul>
通信基盤ドメイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2Q実績の評価、今後の見通し <ul style="list-style-type: none"> <li>-全体感、通信キャリア別の状況と見通し</li> <li>-利益率の改善理由、継続性</li> <li>-NTTモバイル事業の現況</li> <li>-楽天事業の見通し</li> </ul> </li> </ul>



## ②アナリスト向け決算説明会でのご質問

2023年5月19日開催

### ご質問

Q 1

- 環境・社会、ICTソリューションの利益率をどのように改善していくのか
- 西武建設とのシナジーについて、既に出来ていることとこれから取り組むこと

Q 2

- 環境・社会の受注拡大はどのような分野で伸ばすのか
- 再生可能エネルギー事業で、具体的に伸ばそうとしている分野

Q 3

- 今年度重点的に取り組む3分野  
(①グリーンエネルギー、②街づくり・里づくり、③キャリア事業の領域拡大) について、  
2026年度に掲げている売上目標からのバックキャストでの時間軸イメージ
- 成長分野への人財流動計画で、苦労していること、工夫していること

## 2023年11月17日開催

### ご質問

Q 1

- 国際航業のM&Aについて、経緯と狙い。
- NTT事業の固定系アクセス子会社再編について、  
-なぜこのタイミングなのか？、効果はいつ頃からどの程度を見込んでいるのか？

Q 2

- 「街づくり・里づくり」事業のアセットは、今回のM&Aで目途がついたと理解してよいか？
- 2030年に向けて目指す「超・通建」の事業像について
- 「キャッシュ・アロケーション」プラン：事業からあがるフリーキャッシュフローと株主還元の考え方。

Q 3

- 非キャリア事業の収益性（現状の評価と今後の見通し）
- 国際航業のこれまでの株主と当社の違いは？（当社が新たな株主となる強みはなにか？）

Q 4

- 通信基盤ドメインの売上総利益（2Q実績が改善した理由、通期見通し）
- 西武建設の足元状況

### ③個人投資家向け決算説明会でのご質問

---

2023年9月21日開催

#### ご質問

- Q 1 ● 受注は昨年よりも良さそうだが、業績は完全に回復基調に転換したと思ってよいか
- Q 2 ● 東証が要請する「PBR 1 倍割れ対策」について、具体的に考えていることはあるか
- Q 3 ● 人財の多様性、特に女性の活躍促進の進捗状況を教えてほしい
- Q 4 ● 株式優待制度は継続されるか
- Q 5 ● TV広告で、どのような効果が得られたか。今後行う上での狙いはあるか

# 経営陣へのフィードバックの状況

定期的にグループ社長会議、取締役会にて経営陣幹部に I R 実施状況、投資家の関心事項、意見についてフィードバックを実施しています。

## 主な諸施策

### ① 中期経営計画目標値の設定

- 株主還元を一層強化するため、2022年度より「**安定的な配当成長**」と「**機動的な自己株式取得**」を基本方針とし、総還元性向のKPIを従来の「30%以上」から「50%目線」に引き上げました。さらに2023年11月、基本方針を継続するとともに、成長投資と株主還元の連動性を明確にすることを目的として、**総還元性向をターゲットレンジ（50%~70%）と再設定**、還元強化に努めて参ります。
- 株主目線を取り入れた経営を推進するため、第5次中期経営計画の経営目標では**ROE**と**EPS成長率**を掲げております。さらに2023年11月、M&A実行によりのれんの償却負担が一定程度想定されますので、キャッシュフローの創出能力の指標である**EBITDA（額・率）**もKPIに追加して、フォローして参ります。

### ② 事業区分別売上総利益率の開示

- 事業戦略・事業動向を適切に把握いただくため、2022年度より3事業区分別（環境社会・ICT・通信）の売上総利益率を開示しております。

### ③事業説明会の開催

- 新規ビジネスの関する理解深耕を図るため、2022年3月に「ICTソリューション事業説明会」を開催致しました。
- 2023年10月25日～27日の3日間、幕張メッセで開催された「第 14 回 Japan IT Week秋『IoT ソリューション展』」にて合計21の製品やソリューションを展示しました。

#### <社会インフラ DX・GX>

- ▶ レスキュードローン
- ▶ 水素を活用した未来のまちづくり
- ▶ 冠水センサ
- ▶ AI/機械学習による「水道管劣化予測・影響度評価・更新計画策定」サービス
- ▶ 水道管施工管理システム「photoruction water」
- ▶ 工業用水 IoT ソリューション
- ▶ スマートマイクログリッドシステム

#### <企業・施設・店舗 DX・GX>

- ▶ オフグリッド電源ポール
- ▶ 長距離・広範囲をカバーする DX Wi-Fi®
- ▶ ミライト・ワン NW ソリューション
- ▶ 脱炭素パーキングソリューション
- ▶ 3D 計測ソリューション「mapry」
- ▶ DX を加速するミライト・ワンのデジタルツイン
- ▶ 統合ネットワークソリューション

### <働き方 DX、暮らし DX>

- ▶ ミライト・ワン ホテル、レストラン向け DX ソリューション (eeTaB\*® (イータブ・プラス®) )
- ▶ ミライト・ワン ホテル、レストラン向け DX ソリューション (temi GO)
- ▶ 電子棚札ソリューション
- ▶ みらいコネクト
- ▶ ドローンスクール (国家資格)
- ▶ イベント会場の設営コストを削減する『イベント DX : 設営計画サービス』
- ▶ ゴルフ場既存芝刈機無人化システム「HerbF (ハーブエフ) 」【開発中】

## ④決算説明会の動画配信

---

- 決算説明会に参加できないアナリスト・機関投資家に向け、2014年度より決算説明会の動画配信 (日・英) を実施しております。